

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン
元気になることをしよう

2025～2026年度 *Rotary Club of Okayama North*

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所／〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場／岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日／毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2025.7～2026.6

会 長	高 畠	浩 剛
副会長	上野山	信 義
幹 事	砂 田	井 宏
副幹事	宮 岸	達 浩
会 計	岸 本	宅 司
S.A.A.	磯 三	慈 海
副S.A.A.		

会員増強・退会防止(理事)
広報(理事)
奉仕プロジェクト(理事)
ロータリー財団(理事)
クラブ3年計画
親睦活動
プログラム
直前会長(理事)
次期会長

馬 場 幸 三
永 山 雅 己
廣 野 景 治
磯 島 芳 樹
牧 本 太 郎
杉 山 洋 真
米 林 真 樹
高 橋 剛
上野山 茂

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「県財政の健全性と請願について」

株式会社荒木組

代表取締役 荒 木 雷 太 様
(岡山中央RC)

次回11月18日のプログラム

「イニシエーションスピーチ」

吉 岡 明 美 会員

11月のお祝い行事

会員誕生日：中山、高取君

結婚記念日：鴻上、宮武、永山、大塚、關、坪井君

前回10月28日の例会記録

出席の状況

会 員 数 51名 (出席免除者0名)

出席者数 29名

欠席者数 22名

出 席 率 56.86%

10月ホームクラブ平均出席率 57.51%

ビジター

岡山西RC 1名



スケジュール

11月 ロータリー財団月間

18日(火) 12:30～例会

25日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

12月 疾病予防と治療月間

2日(火) 12:30～例会：クラブ年次総会
第6回理事役員会

9日(火) 12:30～例会

16日(火) 例会変更→21日

21日(日) クリスマス家族夜間例会

23日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

30日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

菊池パストガバナーと

本日のメニュー：洋食

今回のメニュー：ヘルシーランチ (和食)

会長挨拶



岡山西ロータリークラブ菊池パストガバナーにビジターとしてご来訪いただき、有難うございます。

10月に入り、次期役員のための研修行事のご案内が届き始めるようになりました。本日例会終了後には、次期理事や次次期の会長を選任するための指名委員会が開催されます。指名委員長の山本和秀委員長どうぞよろしくお願いいたします。

本日の例会は、奨学生であるブン君の卓話、そしてコーディネーターの渡辺玲さんのお話と、大変興味深い内容が盛りだくさんとなっております。

そして、次週の例会は一週おやすみして11月11日です。今、選挙のメールが回っております吉岡明美さん。順調であれば11月18日に初例会参加の予定です。この日は大岩ガバナー補佐はじめ、岡山南ロータリークラブから4名のビジター、ゲスト（延原IM実行委員長・黒田副委員長・高田幹事）も来訪の予定となっておりますので、皆様ふるって例会参加の程よろしくお願い致します。

また、他クラブからは各種事業のご案内が届いております。11月16日に「さん太ホール」で開かれる北西クラブによる「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」参加案内状を回覧致します。

幹事報告

1. 本日13:40より4F「桜の間」において「指名委員会」を開催いたしますので指名委員会メンバーの皆様はご出席ください。
2. 次週11月4日（火）の例会は、定款第7条第1節により取消しとなっておりますのでお間違いないようお願いいたします。
3. 11月の例会につきまして出欠確認を回覧させていただきます。お手数をおかけしますがご回答くださいますようお願いいたします
4. ロータリーの友10月号を配付しております。
5. 他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S.A.A.

高畠君：菊池パストガバナーには本日、ご来訪頂き有難うございます。

ヴェン君、大学での勉強がんばっているようですね。本日のスピーチ楽しみにしております。

磯島(慈)君：岡山JCで菊池綜合法律事務所の藤原弁護士には、大変お世話になりました。菊池パストガバナー、本日はご来訪頂き有難うございます。

本日の新聞の頼れる専門家も拝見致しました。

ヴェン君のスピーチを楽しみにしています。

渡辺君：10月は「米山月間」でございます。本日、米山記念奨学会委員会として、皆様にお知らせをする時間をいただきます。

米山奨学生チョウン・ヒエン・ヴェン君のプレゼンテーションもご期待ください。宜しくお願い致します。

馬場君：菊池パストガバナーのご来訪歓迎いたします。

ヴェン君のスピーチ楽しみにしています。

杉本君：おひさしぶりです。

米林君：菊池パストガバナー（岡山西RC）のご来訪に感謝して。

戸川君：菊池パストガバナーようこそお越しいただきました。

チョウン・ヒエン・ヴェンくん、卓話楽しみにしています。

堀川君：結婚お祝いありがとうございます。会社へ飾らせて頂きました。

申し訳ありません。本日、予定が合わず途中退席させていただきます。

磯島(理)：ロータリーの友の紹介でお時間頂きました。来月はもっと上手に紹介させていただきます。



出席報告



スマイル報告



雑誌委員会 副委員長 磯島 理恵 会員

「ロータリーの友10月号」の紹介

10月のテーマは「地域社会の経済発展月間」と「米山月間」。

全国ロータリアンの蔵元リストや地域社会に貢献する蔵元の記事に続いて、「米山親善大使を呼ぼう！」の記事と学友活動報告の記事を紹介。

また、2026年国際大会の台北大会の概要と旅行ガイドの記事を紹介。



米山奨学会委員会 副委員長 渡辺 怜 会員

10月は「米山月間」と申しまして、「ロータリー米山記念奨学事業」について、会員の皆さんに知見を深めていただきながら、寄付の増進を図っていきましょうという月です。

さる9月21日（日）に、「国際ロータリー第2690地区 クラブ米山記念奨学委員長研修会」が、米子コンベンションセンターで行われ、参加させていただきました。

まず、「ロータリー米山記念奨学事業の概要」ですが、3つの項目に分けて特徴を説明してあります。まず一つ目、米山記念奨学事業は、日本独自の事業で、他国のロータリーにこういう活動はございません。

二つ目は、1952年に事業が始まって以来一貫して外国人の留学生を支援している制度で、「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、日本全国のロータリー34地区と共同でこれを運営する奨学財団であり、財源はすべて会員の皆様の寄付によって成り立っています。

三つ目は、「世話クラブ・カウンセラー制度」を特色としております。

「世話クラブ」とは、奨学生を受け入れているクラブのことを言いまして、岡山北RCは、今年も奨学生のヴェーン君を受け入れている「世話クラブ」です。そのお世話をする者が「カウンセラー」、今年私が2年連続でヴェーン君のカウンセラーを務めております。

こうして、米山奨学生に例会や行事に参加してもらい、交流を深め「人を育てる」ことを重視した活動となっています。

米山記念奨学金の「米山」という名前は、日本のロータリーの父と呼ばれる「米山梅吉」氏に敬意を表してつけられた名前ですが、梅吉さんの財産で作られたそうではありません。1920年に日本で最初のロータリークラブである、「東京ロータリークラブ」を設立した方です。1946年に米山梅吉さんが亡くなられ、3年後、1949年に解散状態にあった日本のロータリーが国際ロータリーに復帰し、1952年に東京ロータリークラブが「米山基金」構想を発表しています。そこから数えて、2022年で70年が経ちました。

次に、奨学生の現状ですが、米山記念奨学金は外国人を対象とする民間の奨学金では、国内で最大規模となっており、2025年度は日本全国で964人の奨学生が支援を受けています。これまでの累計で、世界134の国と地域から、24830人を受け入れてきました。第2690地区では、今年は新規奨学生19名、継続奨学生が8名となっています。

海外応募者対象奨学生というのは、海外から奨学生に応募できる制度です。この秋に当地区の大学へ入学される方を1名受け入れているそうです。

中国人の奨学生の割合については、一見多いように見えますが、そもそも留学生全体が41.2%と多く、必然的に応募資格者も多くなるわけですが、それに対して国や地域の偏りがないようにしています。

奨学金の種類については、大学学部・大学院の学生がほとんどで、学部生が月10万円、大学院生は月14万円が支給されています。期間は半年から最大2年間です。

第2690地区における、来年の奨学生の割当数と新規採用数については、2023年度の寄付額によって、割り当て人数が決めます。2024-25年度寄付金収入は13億3052万円で、その前年度から約1億1500万円減少しています。ただ、配当金と利息収入が増加して、総収入は前年並みということになっています。配当金というのは、当財団に株式を寄贈された組織があって、その株の配当だそうで、奨学金のみの使用に限定されているようです。寄付金のほとんどは、奨学金に使われるのですが、一部、地区や世話クラブの補助費、事業部門の人件費にも使われています。管理費については、支出のわずか3%で、基本的には利子収入で賄うよう努めているということです。

米山奨学会への寄付は「普通寄付金」と「特別寄付金」の大きく2種類があります。「普通寄付金」は、クラブから人数分、会費の中から差し引かれていまして、奨学会の安定的な財源となっています。この額については、クラブ毎に定めることになっていまして、クラブで違いが出てきます。「特別寄付」は、個人、法人、クラブから、任意で寄せられる寄付で、表彰の対象となっています。いずれも、納税時における寄付金控除の対象となりまして、確定申告をすれば、所得税、法人税の税制優遇を受けることができるほか、相続税も非課税となります。全国平均は15,999円で、第2690地区は、14,181円となっていて、全国で34地区中19位というポジションになります。

次は、特別寄付者の割合です。会員数に対する寄付者の割合を示していて、全国では47.5%と、過去最高の割合になっているそうです。第2690地区では39.5%ですが、全国トップは、第2650地区（福井県・京都府・奈良県・滋賀県）で、82.6%もの会員が特別寄付をしています。

ロータリー米山記念奨学会の事業は、皆様の寄付で成り立っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学事業の概要

- ▶ 日本のロータリー**独自の**事業
(RIが定める多地区合同活動の完了)
- ▶ 日本で学ぶ**外国人留学生**を支援
(公益財団法人を設立し運営)
- ▶ **世話クラブ・米山カウンセラー制度**で
交流を重視“人を育てる事業”

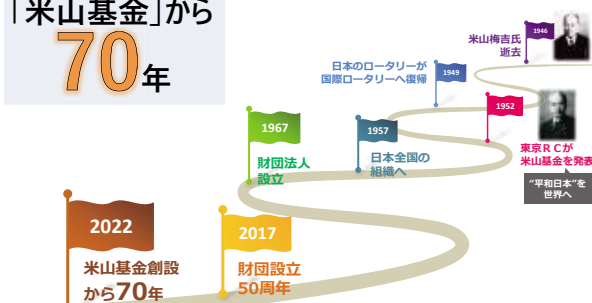
日本のロータリーの父

米山 梅吉氏 (1868-1946)

- ・ ポール・ハリス氏と同じ1868年に誕生
- ・ ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立
- ・ 日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立



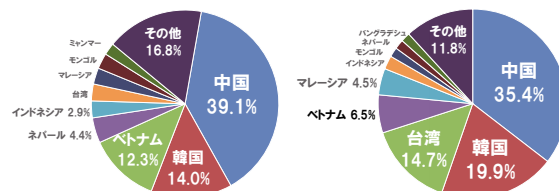
「米山基金」から
70年



国内最大級の奨学生数

2025
学年度 **964人**
新規700人/継続264人

累計 **24,830人**
134の国と地域



国際ロータリー第2690地区 2025学年度ロータリー米山記念奨学生

- ・ 新規奨学生 19名
- ・ 継続奨学生 8名
- ・ 海外応募者対象奨学生 1名

どのようにして奨学生が選ばれるか？

- ・ 6月 指定校選定、推薦割当決定
- ・ 8月-10月 大学内での選考、申込受付
- ・ 1月 書類選考、面接試験
- ・ 2月 世話クラブのお願い

寄付金の種類

普通寄付金

- ✓ 財団法人設立時の約束
- ✓ 奨学会の安定財源
- ✓ クラブで決定した金額×会員数

特別寄付金

- ✓ 個人・法人・クラブからの任意寄付
- ✓ 1円～OK！
- ✓ 表彰対象

米山奨学会への寄付は寄付金控除の対象です

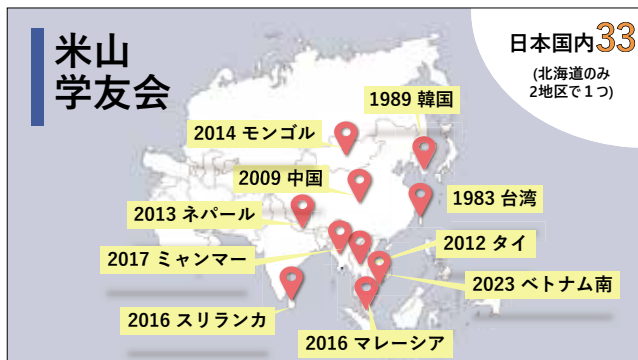
2025-26年度第2690地区目標

普通寄付金額

5,000円/1人

特別寄付金額

10,000円/1人



学友からロータリー会員へ

ロータリー会員になった
米山学友

311人

出身国・地域 TOP 3
 台湾: 88人 中国: 74人 韓国: 73人

今年度のクラブ会長を務めるのは...

バクサダコ
朴貞子さん

東京友愛RC会長

2750地区

ジョウカイ
徐佳銳さん

茨城ERC会長

2820地区

学友からの寄付💚 恩返しの気持ち

1億 3,198万円

出身国・地域別

順位	出身国・地域	金額 (円)	人数
1	中国	91,813,363円	62人
2	台湾	31,241,001円	47人
3	韓国	3,552,000円	23人

義援金

- 💚 東日本大震災 約760万円
- 💚 熊本地震 上海から約20万円
- 💚 熱海土砂災害 台湾から約150万円
- 💚 能登半島地震 約300万円
- 💚 遺言寄付 200万円 など...

ロータリー米山記念奨学会

の事業は、皆様のご寄付で成り立っています。

ご協力をお願いいたします。

スピーチ: 「これまでの学びの振り返りと今後の目標」

米山奨学生 チョウン ヒエン ヴーン 様



皆さん、こんにちは。ロータリー米山記念奨学生の「チョウン・ヒエン・ヴーン」です。本日は、このようなスピーチの機会をいただき、ありがとうございます。

本日のスピーチのテーマは「これまでの学びの振り返りと今後の目標」と題しまして、日本で学んできた道のり、研究内容、そして今後の目標について、お話したいと思います。

1. 自己紹介

私はベトナム・ホーチミン市の出身です。地元の高校を卒業後、ベトナムの「ドンズ日本語学校」で1年間日本語を学びました。その後、来日し、広島県福山市の「福山YMCA 国際ビジネス専門学校」でさらに1年半、日本語を勉強しました。

来日した当時は日本語能力試験N3を持っていましたが、漢字や日本人の会話はほとんど理解できませんでした。そこで、学校で必死に勉強し、アルバイト先で積極的に人に話しかけたり、分からない単語はすぐに調べるようにしました。その努力もあって、少しずつ会話ができるようになりました。

その後、留学試験（EJU）のために岡山市へ移り「岡山専門ビジネスカレッジOBC」で学び、2022年に「岡山理科大学」の化学科に入学しました。現在は学部4年生です。

大学1年生の頃は、化学の専門用語が大変難しく、授業の内容を理解するのもにも苦労しました。毎晩、資料を何度も読み、分からない単語や方程式を調べながら勉強しました。今では、完全ではありませんが、ゴムに関する専門書などもある程度読めるようになり、内容を理解できるようになりました。

昨年のことですが、3年生の時にロータリー米山記念奨学金をいただけることとなり、私の留学生活は大きく変わりました。多くの会員の皆さんに触れ、自分でも日々成長を感じることができまして、岡山北ロータリークラブの皆様をはじめ、関係者の皆様には心より感謝をしております。奨学金をいただく以前は、アルバイトに多くの時間を割いていましたが、今では研究室で過ごす時間も増え、これが研究の成果につながっていることは間違いありません。

また、経済的な側面以外にも、会員の皆さんと交流する機会を得て、視野が劇的に広がったことは大きな変化だと思っています。大学のなかだけでは決して出会えない、様々な職業の会員の皆さんからお話を伺うことで、学問の世界だけでなく、社会で働くことの意義や、人とのつながりの大切さを学ぶことができました。

2. 現在の研究テーマとそこで学んだこと

現在、私は「ゴムのブルーム現象の挙動解明^{きようどうかいめい}」に関する研究をしています。ブルーム現象とは、ゴム製品を空気中に長時間放置すると、表面に白い粉膜^{ふんまく}が現れる現象です。例えば、タイヤは購入時には真っ黒ですが、時間が経つと色が薄くなり、白い粉が出てきます。この粉は表面保護や摩擦軽減の効果がある一方で、見た目を損ない、表面特性にも影響します。挙動解明とは、様々な実験を通じてブルームがゴムに与える影響を解明することを言います。私の研究では、天然ゴムを使い、ブルームを発生させ、表面温度の変化量を測定し、電子顕微鏡でゴムの表面を観察しました。電子顕微鏡とは、電子線を使って物質の表面を高倍率で観察できる装置で、微細な構造を詳細に確認できます。

○研究結果を簡単にまとめると：

- ・ 温度を上げるとブルーム量は増加しますが、ゴムの融点を超えると粉の量は急激に減少します。
- ・ 加硫^{かりゅうざい}剤の量を1%から2%に増やすと、ブルームの発生速度は約30～70%速くなります。（加硫剤とは、ゴム材料に弾性や強度などの特性を付与する「加硫」という化学反応を起こさせる化学物質のことで、硫黄や有機過酸化物など、様々な物質が材料や反応によって使い分けられます。）
- ・ 高温で長時間放置すると表面に亀裂が発生することを、電子顕微鏡で確認しました。

この研究を通じ、ゴム製品の耐久性や品質改善に役立つ知見を得ることができたと考えています。

3. 日本で学んだ習慣や文化的な体験

私にとって日本での学びは、学校の勉強だけでなく、生活で触れる文化的な体験も大きいと感じています。

初めて日本に来たとき、驚いたことの一つは「軽自動車」でした。ベトナムにも車はありますが、もっと大きなものが一般的で、日本のような軽自動車はありません。初めて軽自動車を見たときは、その小ささと可愛らしさに目が奪われました。乗ってみると、外見からは想像がつかないほど室内空間が広く快適でした。そして、狭い道でもスムーズに走り、小さな駐車スペースにも簡単に入れられるなど、日本の道路事情や生活に根差した、非常に合理的な乗り物だと感じました。軽自動車のような、小さくても機能的であるということは、非常に価値のあることであり、軽自動車は、限られたスペースという制約のなかで、安全性、快適性、燃費の良さを兼ね備えた、技術力の象徴のように思います。環境にもやさしく、経済的で運転しやすい軽自動車は、これからの社会にとって理想的な乗り物の一つ

だと思っています。私もいつか、この日本の知恵の結晶ともいえる軽自動車を運転して、いろいろな場所を旅してみたいです。

また、日本の「時間を守る文化」や「丁寧なコミュニケーション」は、ベトナムとは違う点であり、私にとってたいへん新鮮でした。特に「時間を守る」ということについては、来日後に身をもって学びました。例えば、面接などの約束の時間には15分前、通常の待ち合わせ時間には5分前には到着するように心がけています。ベトナムには電車がなかったため、移動は主にバイクでした。しかし、日本ではよく電車を利用しますが、たった1分電車に乗り遅れただけで、次の電車が1時間後になってしまうこともあります。来日当初、何度か電車に乗り遅れた経験から、今は電車を利用する際は、発車の5分前には必ずホームに着くようにしています。

また、コンビニでアルバイトをしたことがあるのですが、そこではお客様に「ありがとうございます」と声をかける習慣や、ゴミの分別など、些細なことですが日常の多くを学びました。さらに、ロータリーの会員の皆様との交流を通じて、日本人の温かさや支援の大切さを実感しました。これは私の人生にとって大きな財産です。

4. 今後の計画

私は、来年3月に大学を卒業する予定です。当初はベトナムに戻り、父の会社に就職するつもりでした。しかし、学べば学ぶほど、まだ知識が足りないと感じます。もっと日本で、日本のことや働き方をより深く勉強したいと思い、大学卒業後も日本で就職することを決めました。父とも相談し、日本のゴム関連企業を紹介してもらいました。今週、その会社の面接を受けます。もし内定がいただければ、その会社で3～5年ほど働き、ゴムに関する知識を深めながら、会社に貢献したいと思います。また、そこで経営についても、少しずつ学んでいくつもりです。

5年くらい後にはベトナムに戻って、父の会社に参加し、製品の品質向上に力を注ぎたいです。そして、日本のゴム関連企業と連携し、製品を輸出するなどによって、ベトナムと日本の架け橋になればと思っています。

5. 結び

最後に結びとして、多くの方々に感謝を申し上げて、このスピーチを締めくくりたいと思います。

私がこの道を歩んでこられたのは、支えてくださった先生方、友人、そしてロータリーの会員の皆様のおかげです。日本で学んだ知識と経験を、必ず社会に還元し、ベトナムと日本の架け橋となることを目指してまいります。

これまでのロータリーの会員の皆様との交流のなかで、私が自身の成長を特に感じた経験が大きく2つあります。ひとつは、専門外の方にも自分の研究内容を分かりやすく伝えられたことです。最初は専門用語ばかりで説明が上手にできませんでした。しかし、例会などで話す機会を重ねるたびに、どうすれば伝わるかを、相手の立場で考えられるようになりました。もう一つは、会員の皆様の温かい励ましに触れるたびに、人間として成長してきました。皆さんが、私を単に留学生としてではなく、一人の人間として、家族のように温かく見守ってくださることが、私の挑戦する意欲の源です。皆さんの温かい励ましは、異国で学ぶ私にとっての何よりの心の支えです。応援してくださる方々がいる、という事実が、私に自信を与え、その期待に応えたいという目標達成への強い意志を育んでくれました。その優しさに応えるためにも、立派な社会人になろうと、決意を新たにしています。

「学び続けることが未来をつくる」——この言葉を胸に、これからも挑戦し続けたいと思っています。

本日は、ご清聴いただきまして、ありがとうございました。

『これまでの学びの振り返りと 今後の目標』

チョウン ヒエン ヴーン
Truong Hien Vuong

1. 自己紹介

・出身: ベトナム・ホーチミン市

【来日後の歩み】

- ・2018年: 来日
→ 福山YMCA国際ビジネス専門学校
- ・2021年: 岡山へ移動
→ 岡山専門ビジネスカレッジ (EJU対策)
- ・2022年～現在:
岡山理科大学 化学科 (学部4年生)



2. 現在の 研究テーマと そこで 学んだこと

- ・研究テーマの概要:
ゴム製品の表面に現れる**白い粉(ブルーム)**
- ・特徴:
表面保護や摩擦軽減の効果があるが、
見た目や表面特性を損なう
- ・目的:
実験を通じ、ブルームがゴムに与える
影響とメカニズムを解明

タイヤのブルーム



研究結果

実験項目	知 見
温度の影響	温度を上げるとブルーム量は増加し、 ゴムの融点を超えると、粉の量は急激に減少
加硫剤の影響	加硫剤の量を1%から2%に増やすと、 ブルームの発生速度は、約30～70%速くなる
表面考察	高温で長時間放置すると表面に亀裂が発生する

3. 日本で学んだ 習慣・文化

- ・軽自動車との出会い
- ・時間を守る
- ・丁寧なコミュニケーション

4. 今後の計画

2026年3月 岡山理科大学
卒業(予定)

埼玉県吉川市のゴム製品
製造企業へ就職見込み

およそ5年後には、
ベトナムへ(父が経営の会社に参加)

5. 結び

【自身の成長を感じた経験】

- ・専門外の方にも研究内容を説明する経験
→相手の立場を考えて伝えること
- ・会員の皆様の温かい励ましの経験
→挑戦する意欲の源に

「学び続けることが未来をつくる」

ご清聴ありがとうございました。